

期日	班	資料番号
10/20	2	2

令和元年度 香取市市民事業仕分け

事業名	農業振興資金利子補給事業
担当部課	生活経済部農政課

香 取 市

事業シート（概要説明書）

予算事業名	農業振興資金利子補給事業			事業開始年度	昭和36年度					
上位施策事業名	農林畜産業			担当局・部名	生活経済部					
根拠法令等	香取市農業近代化資金利子補給条例 香取市農業近代化資金利子補給条例施行規則 香取市農業経営基盤強化資金利子補給補助金交付要綱 千葉県農業経営基盤強化資金利子補給事業補助金交付要綱			担当課・係名	農政課生産振興班					
事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務			作成責任者	飯田 安希乃					
実施の背景	農業は自然条件に左右されたり、豊作・凶作による収穫量や価格の変動が大きいことや、投資から効果が現れるまで長期間を要したりなど、一般金融には適さない性格があるため、農業者が経営に必要な資金を円滑・有利に借りられるように制度資金が設けられた。									
目的 (何のために)	資金利用者の負担を軽減することで、農業を持続的な産業として農業の担い手確保・育成を図る。(農業近代化資金対象：全農業者、農業経営基盤強化資金対象：認定農業者)									
事業概要	対象 (誰・何を対象に)	公的資金利用者					対象者数(全住民に対する割合)			
							人	() %		
	実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施								
		<input type="checkbox"/> 業務委託 又は <input type="checkbox"/> 指定管理 (委託先又は指定管理者:)								
		<input checked="" type="checkbox"/> 補助金〔直接・ <u>間接</u> 〕(補助先: 融資機関 実施主体: 香取市)								
		<input type="checkbox"/> 貸付(貸付先:) <input type="checkbox"/> その他()								
事業内容 (手段、手法など)	事業内容									
	◎農業近代化資金 対象融資機関：JAかとり、JA佐原、佐原信用金庫、千葉県信連、銚子商工信用組合等 【助成対象経費】 農業近代化資金の基準金利から県の利子補給額分を差し引いた額を助成する。 (例：基準金利1.6%、県の利子補給分が1.3%の場合、市が助成する額は0.3%となる。) 基準金利や利子補給率等は、毎月千葉県農林水産部長が定めるものに準ずる。 助成金は県の利子助成決定を受けた後、市の手続きを行い、融資機関に支払う。 ◎農業経営基盤強化資金 対象融資機関：日本政策金融公庫、千葉興業銀行、佐原信用金庫、銚子信用金庫、JAかとり、JA佐原等 【助成対象経費】 平成24年度より国が全額負担することになったため、以降の年度の新規利子補給助成対象者はなし。現在は平成15年度から平成22年度までの対象者を助成している。(最終支払いは令和9年。) 利子補給率は0.75%~0.365%(当時の金利判断に準ずる。) 助成金は、市が一括して融資機関に支払った後、県の負担分が市に支払われる。									
関連事業 (同一目的事業等)										
コスト	2019年度(予算)		2018年度(決算見込)		2017年度(決算)		2016年度(決算)			
	事業費合計		2,680千円		1,465千円		1,649千円		2,565千円	
	事業費内訳 (2018年度分)		農業近代化資金利子補給金 25件 516,505円 (H30補助機関：銚子商工信用組合、JAかとり、JA佐原) 農業経営基盤強化資金利子補給金 32件 949,009円(内市分：474,528円) (H30補助機関：日本政策金融公庫、千葉興業銀行、銚子信用金庫、JAかとり)							
	人件費	担当正職員	0.2人	1,440千円	0.2人	1,440千円	0.2人	1,420千円	0.2人	1,420千円
		臨時職員等								
		人件費合計	0.2人	1,440千円	0.2人	1,440千円	0.2人	1,420千円	0.2人	1,420千円
総事業費		4,120千円		2,905千円		3,069千円		3,985千円		
財源 内訳	国県支出金		446千円		474千円		753千円		1,130千円	
	国県支出金の内容		農業経営基盤強化資金利子補給補助金							
	地方債									
	その他特財									
	その他特財の内容									
一般財源		3,674千円		2,431千円		2,316千円		2,855千円		
財源合計		4,120千円		2,905千円		3,069千円		3,985千円		

事業シート（概要説明書）						
予算事業名		農業振興資金利子補給事業			事業開始年度	昭和36年度
事業実績	活動実績	【活動指標名】（実績値/目標値）	単位	2018年度	2017年度	2016年度
		農業近代化資金利子補給額	円	516,505	141,991	304,442
		農業経営基盤強化資金利子補給額	円	949,009	1,506,623	2,260,200
				/	/	/
	単位当たりコスト	/				
事業成果	成果目標 （指標設定理由等）	県が利子補給の交付決定した案件に対して利子補給する。				
	成果 （目標達成状況）	【成果指標名】（実績値/目標値）	単位	2018年度	2017年度	2016年度
		農業近代化資金利子補給者数	件	25	13	16
		農業経営基盤強化資金利子補給者数	件	32	37	51
		/	/	/		
事業の自己評価 （今後の事業の方向性、課題等）	農家負担の軽減という点では、利子補給は有益であり、継続が望ましい。					
比較参考値 （他自治体での類似事業の例など）	<p>【近隣市町村の様子】 東庄町、神崎町、成田市、旭市いずれも香取市と同じように利子補給を行っている。</p> <p>【利子補給制度変遷】 ◎農業近代化資金 昭和36年から制度が始まり、国が定めた条件を満たすものをを対象に無利子化措置がとられるようになった。平成21年度まで無期限で国が全額を負担。平成22年～23年度は5年間全額国が負担した後、市の利子補給が始まる仕組みになった。、平成24年度から県と市で負担している。補給期間は5年間。 ◎農業経営基盤強化資金 平成6年から制度が始まり、認定農業者を対象に無利子化措置がとられるようになった。平成21年度まで無期限で国と地方公共団体が1：1で負担していた。平成22～23年度は国が全体の8/10、県と市がそれぞれ1/10ずつ補給し、5年間の期限を設けた。平成24年以降は、人・農地プランに位置づけられた農業者に対して国が全額負担している。</p>					
特記事項	<p>農業災害資金：災害により農業に甚大な被害が出た場合、国の判断により発令する資金。 直近の香取市での実績は平成15年の台風被害に対するもので、平成21年に最終返還済。</p>					